

リーマン直撃！年収ガタガタに 平成19年度→22年度

リーマンショックは平成20年10月に起きました。東日本大震災は平成23年3月11日に発生しました。これを機に日本の民間社員の給与は一気に落ち込んでいます。その落ち込みぶりをここに発表致します。

比較した給与データ		
平成19年度の給与(平成19年6月分の給与および平成19年夏賞与および平成18年冬賞与)	サンプル数	20,227 人
↓		
平成22年度の給与(平成22年6月分の給与および平成22年夏賞与および平成21年冬賞与)	サンプル数	12,579 人

調査対象企業 愛知県に本社を持つ、社員300人以下の中小企業（1社平均60人）北見事務所の顧客が主体

用語解説: 中位数とは、100人いたら、その50番目の人のこと。平均値ではない。

注: 年収と賞与は、勤務年数1年以上の人のみを調査。給与は勤務年数を問わず。年収・給与総額・賞与は、それぞれの中位数であるために、合計値合す。

平成23年7月作成 株式会社北見式資金研究所 北見昌朗

ポイント 20代の男性社員で給与総額25万円(手取り20万円)未満の人は44%→55%に！
50代の一般男性社員で年収500万円未満の人は41%→54%に！
50代の管理職で年収700万円未満の人は47%→62%に！
賞与がゼロか、寸志(30万円未満)程度の人は、50代の一般男性社員の22%に！ つまり5人に1人は賞与ナシ

【年収】 50代の一般男性社員の54%が年収500万円未満に！
20代の一般女性社員の53%が年収300万円未満に！
50代の管理職の62%が年収700万円未満に！

20代の一般男性社員は、中位数が、4030千円から3556千円になった。 年収400万円未満の人の比率は、49%→72%へと増えた。	-474 千円減
30代の一般男性社員は、中位数が、4908千円から4488千円になった。 年収400万円未満の人の比率は、53%→70%へと増えた。	-420 千円減
40代の一般男性社員は、中位数が、5308千円から4762千円になった。 年収500万円未満の人の比率は、39%→58%へと増えた。	-546 千円減
50代の一般男性社員は、中位数が、5304千円から4836千円になった。 年収500万円未満の人の比率は、41%→54%へと増えた。	-468 千円減

20代の一般女性社員は、中位数が、3082千円から2967千円になった。 年収300万円未満の人の比率は、43%→53%へと増えた。	-115 千円減
---	----------

30代の管理職の年収は、中位数が、5971千円から5503千円になった。 年収600万円未満の人の比率は、51%→69%へと増えた。	-468 千円減
---	----------

40代の管理職の年収は、中位数が、6900千円から6354千円になった。 年収700万円未満の人の比率は、52%→69%へと増えた。	-546 千円減
---	----------

50代の管理職の年収は、中位数が、7125千円から6570千円になった。 年収700万円未満の人の比率は、47%→62%へと増えた。	-555 千円減
---	----------

【給与総額】 50代の一般男性社員の52%が給与総額35万円未満
50代の管理職の74%が給与総額50万円未満

20代の一般男性社員は、中位数が、257千円から244千円になった。 給与総額が25万円未満の人の比率は、44%→55%へと増えた。	-13 千円減
---	---------

30代の一般男性社員は、中位数が、318千円から307千円になった。 給与総額が30万円未満の人の比率は、68%→74%へと増えた。	-11 千円減
---	---------

40代の一般男性社員は、中位数が、355千円から336千円になった。 給与総額が35万円未満の人の比率は、47%→59%へと増えた。	-19 千円減
---	---------

50代の一般男性社員は、中位数が、361千円から347千円になった。 給与総額が35万円未満の人の比率は、44%→52%へと増えた。	-14 千円減
---	---------

20代の一般女性社員は、中位数が、204千円から203千円になった。 給与総額が25万円未満の人の比率は、90%→89%になった。	-1 千円減
--	--------

30代の管理職の給与総額は、中位数が、387千円から374千円になった。 給与総額40万円未満の人の比率は、58%→70%になった。	-13 千円減
---	---------

40代の管理職の給与総額は、中位数が、435千円から426千円になった。 給与総額45万円未満の人の比率は、58%→62%へと増えた。	-9 千円減
--	--------

50代の管理職の給与総額は、中位数が、461千円から453千円になった。 給与総額45万円未満の人の比率は、67%→74%へと増えた。	-8 千円減
--	--------

【年間賞与】 勤務年数1年以上の社員の中で、賞与がゼロだった人の割合は、2%→5%に増えた。
賞与不支給だった会社の比率は、2%→6%に増えた。

20代の一般男性社員の最多層は「60万円以上90万円未満」→「60万円未満30万円以上」に移った
30代の一般男性社員の66%が賞与90万円未満に！
50代の一般男性社員の中で、賞与ゼロおよび寸志(30万円未満)の比率は8%→22%に増えた。
20代の一般女性社員の66%が賞与60万円未満に！
女性社員の中で、賞与がゼロか寸志(30万円未満)の人の比率は、20代で18%だが、50代だと31%に
50代の管理職の最多数は「150万円以上200万円未満」→「60万円未満」に移った

ただし、これは賞与ゼロの人を含むデータです。北見事務所はこれまで「賞与ゼロの人」を除外して賞与を算出してきましたので、過去のデータとは異なる内容になっています。

20代の一般男性社員は、中位数が、754千円から540千円になった。 賞与60万円未満の人の比率は、29%→58%へと増えた。	-214 千円減
--	----------

30代の一般男性社員は、中位数が、978千円から725千円になった。 賞与90万円未満の人の比率は、43%→66%へと増えた。	-253 千円減
--	----------

40代の一般男性社員は、中位数が、976千円から710千円になった。 賞与90万円未満の人の比率は、43%→66%へと増えた。	-266 千円減
--	----------

50代の一般男性社員は、中位数が、919千円から658千円になった。 賞与90万円未満の人の比率は、48%→71%へと増えた。	-261 千円減
--	----------

20代の一般女性社員は、中位数が、629千円から487千円になった。 賞与60万円未満の人の比率は、45%→66%へと増えた。	-142 千円減
--	----------

30代の管理職の賞与は、中位数が、1245千円から1018千円になった。 賞与120万円未満の人の比率は、47%→67%へと増えた。	-227 千円減
---	----------

40代の管理職の賞与は、中位数が、1544千円から1175千円になった。 賞与120万円未満の人の比率は、32%→52%へと増えた。	-369 千円減
---	----------

50代の管理職の賞与は、中位数が、1535千円から1035千円になった。 賞与120万円未満の人の比率は、32%→61%へと増えた。	-500 千円減
---	----------